

平成 30 年度 建築デザイン講演会開催報告

平成 30 年 11 月 30 日

匠会 環境デザイン学科 4 年 佐々木 一馬



講師の発表



講演会の様子



学生からの質問

建築デザイン学科では毎年度、建築デザインの様々な分野でご活躍されている方の講演会を開催しています。五三会学生部会「匠会」は、五三会和連携しながら、講演会の会場運営や司会進行を担当しました。今年度は、デジタルファブリケーション(レーザーカッターや 3D プリンタなどのコンピュータと接続されたデジタル工作機械によって、3DCG などのデジタルデータを木材、アクリルなどのさまざまな素材から切り出し、成形する技術。)の分野で国内第一人者である豊田啓介氏をお招きして、「デジタルで広がる建築領域」という演題でご講演をいただきました。この講演会には、1 年生から 4 年生までの学科生をはじめ、学外からも参加がありました。現在日本でも徐々に浸透してきているデジタルファブリケーションの大変興味深い内容で、参加した誰もがこの新たな分野に関心を持つことができ、大変参考になるお話でした。

- ◇日時 平成 30 年 11 月 30 日(金) 15 : 00 ~ 16 : 30
- ◇会場 広島工業大学内 Nexus21 デネブホール
主催 : 広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科
後援 : 広島工業大学 建築・環境系学科同窓会「五三会」
五三会学生部会「匠会」
- ◇講師 豊田 啓介 氏 (noiz 共同主宰 / gluon 共同主宰)
- ◇演題 「デジタルで広がる建築領域」

◇次回講演会に向けて

- ・ 座席数が足りていたにもかかわらず、入口付近での案内が悪く学生が溢れていた。
→座席の配置を事前に行い、各学年に早めに連絡を行う。
- ・ 講演会開催前に準備が整っておらず慌ただしくなった。
→スクリーンの準備やマイクの調整は、時間に余裕を持って本番に臨む。
- ・ 照明の照らし方、誘導の指示、講演会の記録撮影は良くできていた。
- ・ 一般参加者への告知を早めて、増員に努める。

以上